

## 事業報告書

日時	令和元年8月18日(日) 14:00~16:00
目的	<p>男性の家事・育児参画を促進していくためには、男女が協力して家事・育児を行ったり、男女が共同して社会に参画したりすることの重要性や家庭の大切さについて、教育・啓発を通じて伝えていくとともに、生活を営むために必要な衣食住や保育などに関する知識や技術を身に付けられるような取組を行うことが重要である。</p> <p>今回の講座では日常生活を営むうえで必要かつ身近なものである洗濯の基本的技術を学ぶことで、男性の意識啓発と家事への関わりを促すことを目的とする。</p>
対象	関心のある方(男性優先)
講師	岩田 美和 氏(沖縄県クリーニング業生活衛生同業組合 理事長)
会場	ているる1F ふれあいサロン
参加者数	37名(女性5名・男性32名)
講演内容(概要)	<p>1 洗濯の基本 講師は衣食住でなぜ衣が最初なのか問いかけた。(赤ん坊が生まれてくるとまず布で包む)洗濯は水洗いと石油系溶剤洗い(ドライクリーニング)に分かれること(家ではドライクリーニングはできない)、また、繊維には様々な種類があり(植物繊維、動物繊維、化学繊維)、洗いが異なるため、服のタグの表示をしっかりと確認するよう説明があった。(縮んだり、型崩れしたりすることがある。)</p> <p>汚れとシミの違いについて説明があった。(汚れは体の脂や大気中のほこりや油煙、シミはアクシデントでつくもの)</p> <p>2 汚れが落ちるしくみ クリーニング店では石油系溶剤を使って汚れを落としている。また、洗濯機の形状(縦型、ドラム式、2層式)により特徴があると説明があった。</p> <p>3 洗剤の選び方 洗剤の主成分は界面活性剤であるとの説明があった。 市販の様々な洗剤を例に挙げ、配合されている界面活性剤の割合が異なることが示された。 また、洗濯物の量(重さ)を確認し、適切な洗剤の量を使うよう説明があった。</p> <p>4 アイロンのかけ方 スクリーン、プロジェクターで手元を表示しながら、かりゆしウェアと長ズボンについて、アイロンのかけ方の実演があった。 各グループにかりゆしウェアを配り、実際に手に取りながらアイロンがけの手順を確認してもらった。 また、アイロン台にも様々な種類があり(裏がメッシュ、うま付きなど)、買い替えをする際には確認するよう助言があった。</p> <p>5 簡単な染み抜き 時間が経つとシミは落ちにくくなるため、宴会等の後は服にシミがついていないか、チェックした方がよい。また、宴会時にシミをおしぼりで拭く人がいるが、おしぼりには漂白剤が入っていることがあるため、避けるよう助言があった(色落ちが生じる事がある)。 受講者で台所用洗剤、水、オキシドールを混ぜた魔法の水を作ってもらい、醤油、口紅、ボールペンのインクの染み抜き実習が行われた。受講者は敷いた布に歯ブラシでしみを叩いて落とす感覚を体験していた。</p> <p>6 干し方</p>

洗濯物を早く乾かすには風通しをよくすることだと説明があった。

針金ハンガーを加工して服を広げるようにして干し、シャツ、ズボンを早く乾かす工夫を行っている事例の紹介があった。また、洗濯物を洗って濡れたまま放置しないよう助言があった（菌が増殖するため）。

（質疑）

事前に配布した質問カードに基づいて、参加者が普段の洗濯で困っていることや洗濯に関する素朴な疑問などに答えていた。



↑岩田 美和 氏



（自由記載欄より抜粋）

- ・先生の説明が、すごくわかりやすかったです。ありがとうございました。今後に活かしていきたいと思います。
- ・すぐ役立つ講座でとてもためになりました。
- ・貴重な講座で大変参考になりました。洗濯でオシャレ着など、洗濯機のソフトとか使い分けを教えて。
- ・男性もどんどんやることによって家事が上手になると思います。
- ・今日だけで多くのことを学ぶことができました。今まで勘違いしてたことも多く、講座を聞いて良かったです。
- ・話が上手だった。わかりやすい。
- ・アイロンのかけ方とワイシャツの黄ばみについてもっと習いたい。
- ・いろいろ準備されていて、実際に作業をしながらわかりやすかった
- ・アイロンの当て方は、普段行ううえで参考になりました。
- ・とても詳しくかったです。アイロンのやり方の実演ありがとうございました。
- ・プロの知識を学べた。今後活用したい。

参加者の声

主催等

主催：（公財）おきなわ女性財団